Ari-nishi Family

江東区立有明西学園通信　令和８年 10 月号

第　6　号
令和８年　９月３０日　発行
校長　井　熊　豪

「みんな かがやく！」のカギを握るのは・・・？

校長 井熊 豪

先日、Ari-nishi Festival 実行委員長が校長室に挨拶に来てくれました。今年度のスローガン「芸術開花～音とカタチ、全員で創る最高峰～」に込められた思いを伝えるためです。実行委員長からは、「表現する人」「作る人」、そして「支える人」の全員が力いっぱい取り組み、全員で「Festival を創る」ことを目指したい、という強い決意が語られました。

昨年度の研究発表会において、生徒代表が本学園の未来のあるべき姿として「みんなが学校への理想像を持つこと」「少数の意見も大切にしていくこと」「表舞台を『支える人』にも光を当てること」の３つを掲げました。私自身、この考えに深く感銘を受け、本学園が大切にしたい想いとして様々な場面で発信してまいりましたが、今年度の Festival のスローガンにもまさにこの精神が息づいていると感じています。

また先週の金曜日には、豊島区立千登世橋中学校の小林校長先生をお招きし、がん教育のご講演をいただきました。その際、小林校長先生から「がん患者、医師、そしてそれを支える立場、それぞれの視点からの話を伝えていきたい」という言葉がありました。私はその言葉を聴き、困難や課題に立ち向かうためには「多様な立場の人々が、同じ想いを抱いてともに進むこと」が不可欠であると、あらためて実感いたしました。

江東区立学校園では、「みんな、かがやく！」をテーマに教育活動を進めています。この言葉を実現するカギもまさに、「関わる全員が互いの立場を等しく尊重し、同じ目的に向かって歩むこと」にあります。今回紹介した出来事はすべて、この大切なテーマと深くつながっていると感じています。

Festival はもちろんのこと、これからの学校生活においても、こどもたちはそれぞれの立場で精一杯取り組みます。教職員一同、そのありのままの姿と努力を全力で支えてまいります。保護者の皆様、地域の皆様におかれましても、変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

10月の行事予定　・詳細な予定は、各学年の通信をご確認ください。

日	曜	主な行事	日	曜	主な行事
1	木	都民の日　　６年日光移動教室	16	金	ひまわり教室保護者会
2	金	６年日光移動教室	17	土	
3	土		18	日	
4	日		19	月	６年 連合運動会　　後期集会
5	月	６年振替休業日	20	火	５～９年集会
6	火	後期課程 中学校連合陸上大会	21	水	
7	水	Ｂ時程	22	木	Ari-nishi Festival
8	木	９年 第２回進路説明会	23	金	Ari-nishi Festival
9	金	前期終業式	24	土	Ari-nishi Festival
10	土		25	日	
11	日		26	月	振替休業日
12	月	スポーツの日	27	火	
13	火	後期始業式　生徒専門委員会	28	水	避難訓練（集団下校）
14	水		29	木	１～６年 個人・保護者三者面談
15	木	前期課程 SEP 昼礼	30	金	１～６年 個人・保護者三者面談　中学校英語学芸会
			31	土	

11月の主な行事

２日（月）１～６年個人・三者面談　５日（木）６日（金）１～６年個人・三者面談／９年三者面談　９日（月）～１２日（木）９年三者面談
１６日（月）９年 第３回定期考査　　１７日（火）１８日（水）７～９年第３回定期考査

地域学校協働本部　Ari-nishi Supporters の活動

〇英検自習室、面接練習教室　　〇校庭遊び場開放
〇標準服交換会　　〇キャリア教育
〇図書ボランティア、読み聞かせ
〇学園サポート（Sports day　Ari-nishi Festival　学校公開）

有明西学園　地域学校協働本部（Ari-nishi Supporters）ブログ

地域学校協働本部
ブログはこちらから

５年生　檜原村自然体験学習

　８月２４日～２７日に、５年生は自然体験の宿泊学習で、檜原村へ行きました。１泊２日と短い時間でしたが、初めての宿泊学習で、とても貴重な学びを得ました。

●林業体験・製材所見・スプーン作り体験



　有明西学園が大切にしている「木」について、体験を通して学びました。「東京チェンソーズ」のみなさんのご指導で、下草刈りを行う林業体験をしました。木を立派に育てるために、暑い時期でも大変な作業をしなければならないことを、身をもって理解しました。

　製材所見学では、一本の丸太を角材に加工する様子を、目の前で見せていただきました。年輪の不思議にもふれて、成長するまでの時間に思いを馳せました。

　多くの工程を経て木材になった木が、実際の製品になります。木のスプーンを一人一本ずつ、思い思いの形に磨いて加工し、オリジナルのものに仕上げました。木目の違いも楽しみました。

●払沢の滝見学・鱒つかみ体験・川遊び

　観光名所である払沢の滝を見学しました。澄んだ水と美しい景色、小河のせせらぎ、爽やかな空気を大いに味わいました。

　宿舎は、秋川渓谷の中に建っています。目の前の川で、鱒つかみ体験と川遊びをしました。ぬるぬるとすべる鱒を一生懸命追いかけ、つかまえることができたときには笑顔が弾けていました。

●ナイトレク

　初日の夜にはレクリエーションを行いました。キャンプファイヤーの火を囲んで、踊った後、レク係が準備をしていたゲームを楽しみました。







●都民の森ミニハイキング・キーホルダー作り・丸太切り

　もう１日は、檜原村の自然を感じるプログラムです。都民の森では、ハイキングをしながら、檜原村の豊かな自然を感じることができました。目に鮮やかな緑を楽しみながら、たっぷり森林浴をしました。

　短くしたハイキングと合わせて、キーホルダーを作ったり、丸太切りに挑戦したりしました。お昼ごはんを友達と食べたのもよい思い出です。

　この２日間で、友達と協力して生活をする大変さと喜びを感じられたと思います。先を見通して自ら行動する力、知識や経験を結び付けて深く考える力など、多くのことを学びました。得られた力を生かして、５年生は今後の学校生活も「力いっぱい」頑張っていきます。

　最後に、二日間のリアルを知っていただくために、こどもたちがしおりに書いた川柳から紹介します。

川遊び　水かけあって　笑顔さく
マスつかみ　逃げ足早い　悲鳴上げ
水の中　荒ぶる魚　ほかくした
ひとけずり　夢中になった　木のスプーン
バスレクが　活やくすごい　面白い
二日目が　一日目よりも　うまくいく

林業は　汗びっしょりで　服重い
山の中　セミの声聞き　一休み
瀬音の湯　美はだ効果は　まじで神
ハイキング　みんなで歌い　笑い合う
努力した　けれども整理　まだおそい
山渓と　お別れ悲しい　またこよう

★特別支援教室（ひまわり教室）

特別支援教室（ひまわり教室）は、得意・好きなことを生かしたり、苦手・困っていることを相談・練習したりして、色々な自分と向き合いながら学ぶ教室です。一人一人が抱える学習上・生活上の困りごとに寄り添いながら、改善を促すために「自立活動」という指導を行います。指導目標や指導内容は一人一人異なり、自身の特性とうまく付き合いながら生きていくことを目指した指導・支援を考えています。

ひまわり教室についての質問や、発達についての相談などがありましたら、担任、特別支援教育コーディネーターを通して、お気軽にご相談ください。

「コミュニケーション」学習

より楽しく学校生活を過ごせるように、
いろいろなルールや友達とのかかわり方を
学習します。
自分も相手も大切にしたかかわり方を
先生や友達と一緒に練習します。



「気持ち」の学習



自分や相手の
いろいろな気持ちを知ったり
どうすれば相手に伝わるのか
表現の仕方を学んだりします。

「体をうごかす」学習



いろいろな運動を行うことで
体のバランスや、力加減を
学習します。



「話す」学習

声の大きさや話すスピード、
内容を整理してから話すなど、
話し方の練習をします。



「聞く」学習



話をよく聞いて大事なことを
聞き取ったり、聞いたことを
覚えたりする学習です。



「見る」学習



上下左右に目を動かしたり、
大事な情報を見つけたりする
学習です。

